

取扱説明書

安全のため必ずお読み下さい。

この度は、当社の商品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございました。
ご使用前に必ずこの説明書を読んで頂き、正しくご使用下さい。尚、大切に保存し必要な時にお読み下さい。

注意 故障、破損、けが、物的損害につながる場合があります。

- 連結ボルトやジョイント金具がゆるんだ状態で使用しないでください。
- 商品を移動する際は、必ず二人以上で持ち上げて移動してください。
- 商品を床に傾斜や段差のある不安定な場所で使用しないでください。
- 商品の分解や改造はしないでください。

お願い

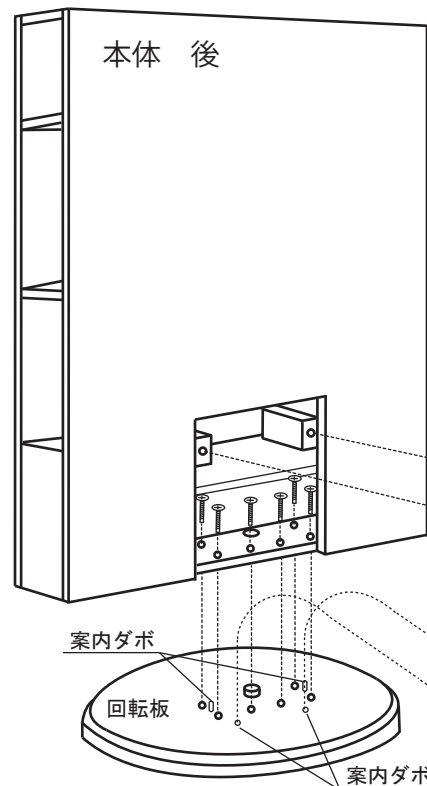
- ときどき、ボルトのゆるみによるガタツキがないか点検し、ゆるみのある場合はしめつけてください。
- 直射日光やストーブなどの熱が直接当たる場所や、湿気・乾燥の著しい場所では使用しないでください。
- 商品の表面に、セロテープやシールなど、粘着性のあるものを貼り付けしないでください。表面材がはがれる恐れがあります。
- 商品の上に熱いものをのせしないでください。変色してあとが残る恐れがあります。
- 商品の上でボールペンなど先の硬いものを直接使用しないでください。表面を傷付けたり、あとが残る恐れがあります。
- お手入れは柔らかい布で乾拭きしてください。汚れのひどいときは中性洗剤を薄めた液を布にひたし、よくしぼってから拭き取り、その後乾いた布で拭いてください。

本体と回転板の取り付け方

本体後下部のユリアネジを緩め配線カバーを外します。

回転板に下図のように2か所案内ダボを差し込みます。

本体と回転板のダボ位置を合わせ、付属のボルトで前側2箇所、後側4箇所締め込みます。



*一箇所ずつ固定しながら組み立てると、後で組むボルトが入りにくくなる場合がありますので、必ず、全部のボルトが入るのを確認してから最後にドライバーで閉め付けます。

配線カバー取り付け方

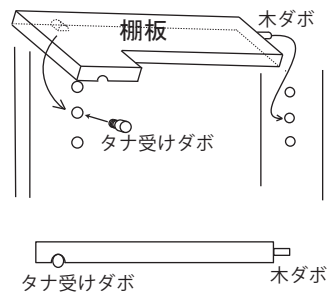
配線カバー下部に案内ダボを2箇所差込みます。

配線カバー下部の案内ダボを回転板の案内ダボ穴に差込みます。

最後にユリアネジ2箇所を締めたら完成です。

棚板の設置

棚板奥側の木ダボを本体奥の穴に合わせて差し込み、前側を裏面の切り欠きに合わせて棚板を設置します。

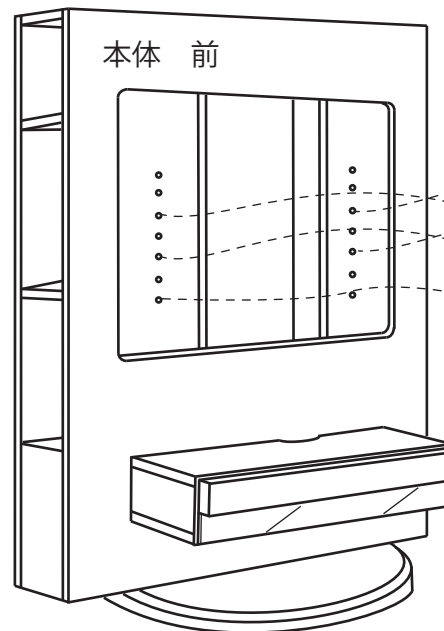


壁掛け金具の取り付け方法

- ① 本体の前面に付属のボルトとワッシャーでTV壁掛け金具を好みの高さに固定します。
- ② 使用しない穴には、穴隠しフリーキャップを被せませす。

金具部品	M6ボルト 40mm		6
	タナ受けダボ		8
	案内ダボ		4

金具部品	M6ボルト 20mm		4
	ワッシャー		4
	ボルトキャップ/黒		4
	#5フリーキャップ		10



使用しないネジ穴には、穴隠しキャップを被せませす。

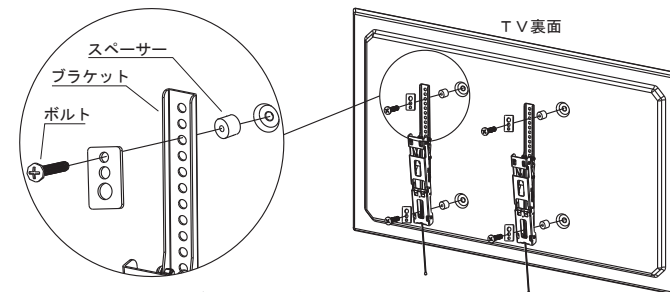
※TV裏面の凸凹が大きい場合に使用

金具部品	M6ボルト 55mm		4
	スペーサー 38mm		4

TVブラケットをTVに取り付けます。

※TVブラケットをTVに取り付けるボルト/スペーサー等は、壁掛け金具本体(TK8-79211)に付属しています。詳しくは、TK8-79211取扱い説明書を参照してください。

※TV裏面の凸凹が大きくTK8-79211の付属スペーサーで対応出来ない場合は、パネル本体に付属している38mmスペーサー/55mmボルトを御使用ください。



使用TVにより、ボルト径が違います。